

積み残し論点のうち、再協議したい課題

全体

●NGO の関与

・「人道復興支援」の「意義とねらい」に以下の文言を追加：

「このような取り組みが、政府の支援事業だけでなく、日本のNGO・NPO等による事業によっても幅広く適用され、多くの好事例が生み出されるよう最善を尽くすべきである。」

「モニタリング」

目標 1 具体策 1 の作業部会に NGO のフォーカル・ポイントをくわえる、

または、目標 2 具体策 7 「グッド・プラクティスの蓄積と公開」に「NGO の事業を含む」を加える。

●「女性・女兒等の多様な受益者」

「序文」に以下の記述を入れる：

「武力紛争及び緊張の高まりにより難民・国内避難民化した者や、女性・女兒等を中心とした脆弱性の高い多様な受益者(特に民族的・宗教的・言語的少数者、障害者、高齢者、保護者のいない子ども、女性世帯主世帯、LGBT など。以下、「女性・女兒等」)が、紛争の予防・解決・平和構築、ジェンダーに基づく暴力からの保護や人道・復興支援の意思決定、計画立案、実施、モニタリングから評価などのあらゆる段階に参画し、積極的な役割を果たせるように留意する。」

あるいは別にグロサリーを作り、用語の定義をまとめて記載することも考えられる。

序文

● 3. 「日本の取り組み」(1)

日本軍「慰安婦」ないし「大規模な性暴力」を引き起こしたことに關する言及の復活を求める

「参画」

●「参画」目標 4

・元の目標 5 具体策 3 「外交・安全保障分野における女性の参画や昇進を妨げる要因を分析し、改善策をまとめる」の復活について協議したい

・元の目標 5 具体策 4 「意思決定プロセスの透明化と、草の根女性の参加」の復活について協議したい

## 「保護」

### ● 「保護」 目標 1 具体策 2

「人道上の危機状況下」には災害時も含まれるので、

「PKO 等の平和構築活動や途上国資源事業に従事する職員、隊員の研修」に「災害派遣」をくわえて、「PKO 等の平和構築活動や災害派遣、途上国資源事業に従事する職員、隊員の研修」とする

### ● 「保護」 目標 3 具体策 5

指標に以下を追加する。

〈指標 2〉 日本に滞在する難民等のなかでも特に女性・女兒等の声を支援計画に反映する。

〈指標 3〉 女性・女兒等の難民や庇護申請者の固有のニーズに対応した支援(例えば、社会福祉、生計支援・職業訓練、社会統合や教育などの分野において)を提供する。

〈指標 4〉 第三国定住プログラムの下でリスクの高い女性・女兒の受け入れを検討。

〈指標 5〉 日本における庇護申請者、特に女性の庇護申請者の収容を削減することを検討。また収容された場合の女性特有のニーズやリスクに対応した支援の検討。

### ● 「保護」 目標 4 具体策 3

「派遣時に GBV 加害があった場合の訴追・処罰メカニズムの確立」

指標 2 はもともと自衛隊内部における GBV の施策なので、説明から「派遣時に」をとるかわりに〈指標 1〉に「派遣先で」と記載する。

### ● 「保護」 目標 4 具体策 4 指標 1

「法的対応の件数」だけでは不十分であるため、「法的対応を含む対応の状況」とする

### ● 「人道復興支援」

管理職対象の研修について協議したい。